

津軽地域ケアネットワーク 定例会NEWS (27年10月号)



津軽地域ケアネットワーク交流会2015開催

平成27年10月3日(土) 14:00~17:30、弘前大学医学部保健学科 大講義室及び各講義室において、津軽地域ケアネットワーク交流会2015(第26回津軽地域ケアネットワーク定例会)を開催いたしました。

今年は、例年共催の中南地域県民局地域健康福祉部保健総室(弘前保健所)、青森県介護支援専門員協会津軽支部会、弘前大学大学院保健学研究科地域保健医療教育研究センター、一般社団法人弘前市医師会に加えて、新たに、一般社団法人弘前歯科医師会、弘前薬剤師会の二団体にも共催いただきました。

第一部では「地域を支える多職種連携のちから」をテーマに各共催団体から、日頃の活動内容の報告を中心にそれぞれが感じている課題等について話題提供をしていただきました。発表者については右記をご参照ください。

第二部では「10年後の津軽を見据えて」と題して、第一部で発表のあった話題提供の内容を基に25グループに分かれてグループ討議が行われました。

保健・医療・福祉・介護・行政分野から総勢218名の参加があり、活発な質疑応答、顔の見える交流が行われました。



【日時】

平成27年10月3日(土)

14:00~17:30

【会場】

弘前大学医学部保健学科

大講義室等

平成27年11月17日発行



【第一部】

話題提供

「地域を支える多職種連携のちから」

発表者(以下発表順)

一般社団法人弘前市医師会

~理事 石澤誠

一般社団法人弘前歯科医師会

~角倉紳

弘前薬剤師会

~相馬渉

弘前大学大学院保健学研究科地域保健医療教育研究センター

~助教 北嶋結

青森県介護支援専門員協会津軽支部会

~理事 中村公生

津軽地域ケアネットワーク

~副会長 堀川恵

中南地域県民局地域健康福祉部保健総室
(弘前保健所)

~主幹 工藤弥生

【第二部】

グループ討議

「10年後の津軽を見据えて」

グループ討議

グループ討議では今年も討議した内容を「どこでもシート」に書き落としていく形式をとり、グループ討議後の意見交換の時間では各グループの討議した内容が掲示されました。

意見交換の時間では弘前大学大学院保健学研究科地域保健医療教育研究センター真里谷教授がコーディネーターとして進行し、4つのグループから討議した内容について発表していただきました。

発表した各グループからは、CCRC（高齢者移住計画）、弘前市医師会の在宅診療、介護保険、在宅での薬剤管理など、それぞれ異なるテーマについて討議した内容の報告がありました。発表を聞いた参加者も自分が参加したグループとは違う視点の討議に刺激を受けたようです。

最後に津軽地域ケアネットワーク葛西会長より、参加者の皆さまへの感謝の意が表され、今回の交流会をきっかけに多職種連携の更なる深まりを祈念することを結びとして会が締めくくられました。

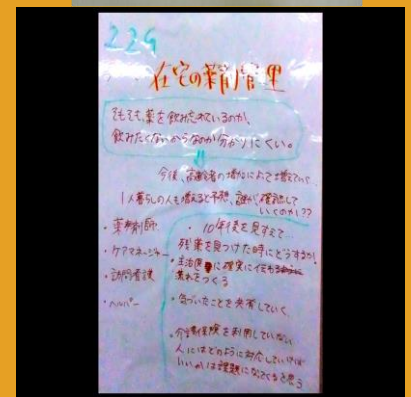
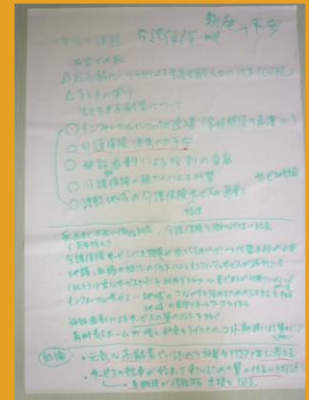
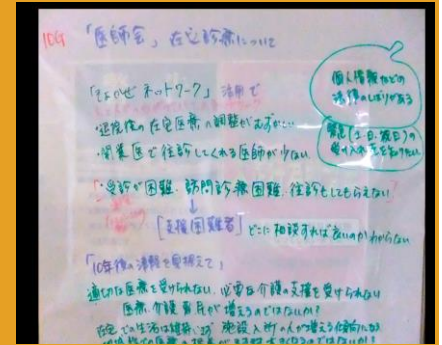
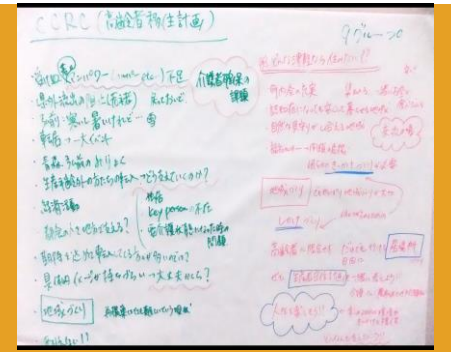


津軽地域ケアネットワーク交流会2015

共 催：一般社団法人弘前市医師会、一般社団法人弘前歯科医師会、弘前薬剤師会、中南地域県民局地域健康福祉部保健総室（弘前保健所）、青森県介護支援専門員協会津軽支部会、弘前大学大学院保健学研究科地域保健医療教育研究センター

企画病院：町立大鰐病院、黒石厚生病院、弘前大学医学部附属病院

NEWS編集：弘前大学医学部附属病院



津軽地域ネットワーク

事務局：

弘前中央病院

地域医療連携室

TEL：0172-36-7111

FAX：0172-31-0168